

結城第一工業団地繁昌塚南地区について

工事の進捗状況並びに企業の進出による雇用及び移住の見込みについて。

経済環境部長 工事の進捗状況は、令和8年5月末現在で、全体工事費から見た事業費ベースでは、約63%の進捗で、計画通りに進められている。

企画財務部長 雇用見込みは、現時点における各

企業の申込時の内容によると、正規雇用者235人、非正規雇用者35人、合計270人となっている。

このうち地元雇用については、正規雇用が89人、非正規雇用が20人、合計109人であり、進出企業の移転に伴い本市への移住が期待される人数は、161人である。

工業団地がもたらす影響について。

市長 「雇用の場の確保」

やそれに伴う従業員等の「移住・定住」、また、立地した企業に関連する産業への波及等が期待できる。

移住に関し、新たに導入する「区域指定」なども強くPRし、住む場所の選択肢を増やすことで、より一層、結城に住んでもらえるような環境づくりに努めていく。

異常気象の中での倒木の危険性について

近年、突風、強風などで

巨木の倒木が多い。診断の頻度と基準の「管理リスト」的なものは。

都市建設部長 日常のパ

トロールや市民の皆様からの通報等により、倒木の危険性が疑われる樹木や、外観からでは内部の腐食状況が判別できない巨木などについては、造園業者に意見を求めるとともに、専門家への診断についても検討していく。管理リストについては、現時点で市全域の樹木を

一元管理する統一されたリストはないが、道路や公園においては、定期的なパトロールを通じ、経過観察が必要な樹木の的確な把握に努めている。



▲強風による倒木 (R8.1 城の内)

近年の異常気象の中で

生命をも脅かす倒木の危険性の認識を！

工業団地操業で
区域指定での移住定住を期待



上野 豊
(うへの ゆたか)

録画映像
はこちら

